

全日本民医連「国民健康保険など死亡事例」調査 国保事例一覧（09年1-12月）0.3.117 以リ-ス<修正版>

事例番号	県連	年齢	性別	職業	保険	保険経過	初診日	死亡日	疾患	事例内容	事業所とのかわり	結果(帰結)	自治体対応など
12の①	北海道	54	男	無職	無保険		2009/12/10	12月27日	肝不全	離婚後妻子とは行き来なく独居。建築ブローカー(仲介)の仕事をしていたが、取引先の倒産もあり、徐々に仕事が減り、09年からほとんど仕事ができなくなり生活困難なため、家賃の安いアパートに転居。初診時の2-3ヶ月前には、友人からの食料などを援助を受けて生活していた。元々飲酒歴あるものの、これまで病院にかかることはなかったが、1週間ほど前から下痢症状とみられ、当院の患者である友人に強くすすめられて、12/10当院初診。歩行や座っている状態がづらい状況だった。しかし点滴により症状が改善し、翌日もさらに検査して、今後の治療方針を決める予定だったが、特に腫瘍マーカーが高く、即時入院が必要となり、法人内のK病院へ入院となり、12/27亡くなられた。初診時の来院時は無保険ということだったが、国保課に確認したところ、12月の国保証発行時に住所不明で返送されていたため、本人の手元に届いていなかったことが判明。自己負担分は無料低額診療扱いとした。入院の可能性もあったので、限度額認定証の手続きも聞いたところ、保険料の滞納があるようで窓口での相談が必要とのことだった。どちらにしても無収入のため、本人は生保申請を決意。初診時は体調悪く申請に行けず、翌日12/11行く予定でいたところ、そのまま入院となったため、転院先のSWに引き継いで、入院時に生保の電話連絡をいれてもらった。生活保護は死亡後に決定となった。			
12の②	北海道	54	男	自営業	短期証	本人住所変更しておらず、09年12月1日以降保険証発行されておらず。相談後保険証発行。	2009/12/10	12月27日	肝硬変症	09年12月10日法人内S病院受診。09年12月11日当院入院。肝細胞癌精査で入院になるも、検査の結果は癌末期で手術もできない状態であった。消化器穿孔、腹膜炎併発、肝硬変、肝細胞癌と増悪早く、09年12月27日亡くなる。本人1人暮らし、建設関係の自営をしていたが08年春頃より取引先倒産の影響で収入途絶え、知人から借金をして生活していた。本人お金なく受診できなかったと話される。入院日から生保申請とした。入院中に生保申請書類そろわず、2010年1月7日保護決定(死亡後決定となる)。09年12/11-12/28までの入院費は、生活保護に請求。			
14	北海道	60代	男	無職	資格書			4月29日	脳出血(糖尿病など)	2年前まで生保受給していたが、年金支給により停止。10万円弱の年金のため生活は余裕がなく、国保料滞納による短期証となり、他院の糖尿病治療を中断。数ヶ月前から資格書となっていた(独居)。4/27に無料低額診療の電話相談があり、国保証(短期証)を即日してもらおうよう説明。数ヶ月前から視力低下あり、数日前からほとんど見えなくなったため、4/28妹がつきそって眼科受診。眼科では脳出血、すぐに他院脳神経外科(法人外)の受診をすすめ、即日受診して入院。翌日亡くなった。4/27国保証(短期証)を発行してもらう際に、保険料納付のことは指導されたが、受診必要なため、取り急ぎ国保証は発行してもらった。自己負担分は無料低額診療を申請。			
15	北海道	67	男	無職	資格書		2008/10/18	1月23日	膵臓癌全身転移	15歳から大工一筋のEさんが体調不良を感じ始めたのは07年7月頃、時々腹部痛みを見るも食事をするど治まった。日給月給の仕事では国保料も払えず「資格書」だった。時々くる痛みをこらえながら体調のいい日は働きにでた。一時回復したかにみえたが08年にはいって再度腹部の痛み、背中の痛み、疲労感、足のだるさを感じ、7月ごろから食事ものどを通らなくなった。1年前62キロあった体重は48キロまでになった。8月ごろより仕事ができる状態ではなくなった。資格書をながめながら、ため息をついていたという。蓄えも底をつき、知人の紹介で「生活を健康を守る会」に相談、当法人の無料低額診療制度を紹介されたのは、10月18日、土曜・日曜に調子がおかしくなったら法人内K病院に行くことを紹介した。08年10月20日、当院をおとすれたEさんは、顔色を青ざめ体調が悪いのは人目でわかるほどやつれていた。受診の帰りに生保申請に向かった。翌21日、CA19-9即検査結果がでた。5桁の数値であった。K病院を紹介し入院精査することとなった。K病院では膵臓癌と診断、「余命長くて半年」と診断された。11月下旬、K病院から退院したと聞いて自宅訪問、散乱した室内の中での妻との暮らしに貧困の暮らしぶりが思い浮かぶ。ご飯は食べれますか「この人、何も食べなくて、玉子かけご飯くらいしか食べないの」と妻がいう。働いても働いてもやすぎのこない日々にはEさんは、何を感じたのだろうか。その後、こらえきれない痛みのため再入院。09年1月23日死去される。「生活と健康を守る会」より、「無料低額診療制度」活用者の依頼を受け、初診となる。結果は膵臓癌全身転移で死亡。			

全日本民医連「国民健康保険など死亡事例」調査 国保事例一覧（09年1-12月）0.3.117 リリ-ス<修正版>

事例番号	県連	年齢	性別	職業	保険	保険経過	初診日	死亡日	疾患	事例内容	事業所とのかかわり	結果(帰結)	自治体対応など
5	2 埼玉	46	男	自営業	無保険	無保険→国保加入→生保申請	2009/2/14	3月7日	大腸癌 多発性肝転移	日系ブラジル人。お金をためるため、友人の紹介で1990年来日。独身だが家族はブラジル在留。在留資格あり。友人とアパートを借りて住んでいる。電気工事の仕事をしているが無保険で、具合が悪くなると市販薬で済ましていた。月20～25万円の収入はあった。受診歴なし。受診の4週間前から下肢の浮腫が出現し、呼吸困難、体動困難となり救急搬入された。腹部膨満激しく、大腸癌の肝転移との診断で入院。無保険ということがわかり、会社社長より国保加入の手続きをしてもらい、生保申請する。受診した際にはすでに末期の状態であり、予後1ヶ月というお話しもされた。母国の母親が会いたいとの話があったが、本人は母を気遣い、病気については黙っていてくれと。最終的には母親の配慮で母国の牧師の手配をし、病室で御祈りをした2日後に病院で死亡された。受診してわずか3週間あまりの看取りとなった。			
6	45 埼玉	65	男	無職	無保険	3年前当時勤めていた会社(社会保険)を解雇されてから保険加入なし	2009/5/22	6月24日	胃癌	近所の通報で市役所福祉課と包括支援センターが本人宅訪問。自宅内はかなり乱雑な状況。衰弱している本人を連れて当院受診。診断は胃癌末期。無保険で医療費の支払いができないという理由から「迷惑かけるだけだから入院はしたくない」と頑なに入院拒否。本人は自宅内で衰弱死することが、一番迷惑をかけないと考えていた。病院や関係者の必死の説得で入院したが、1ヶ月後に死亡。	法人内の包括支援センターよりMSWが通報を受けてすぐに受診に結びつける。入院後すぐに生活保護の手続きとる。3年前から腹部のしこりを感じていたが、保険証がないため受診せず。親兄弟とは30年以上会っていない。3月まで派遣で清掃業をしていたが、その後体調不良で仕事ができなくなる。その頃から餓死することを考えていた。本人は「死ぬのが辛かった」と。入院後2週間くらいまでは、治療の経過で回復され病院スタッフへ感謝を述べられる。「こんな俺にまで優しくしてもらって・・・、幸せだった」	入院1ヶ月後病状悪化し当院で亡くなる。亡くなる1週間前に山形にいる兄に連絡がとれ、30年ぶりの再会を果たすがほとんど会話ができる状況ではなかった。死亡後、葬祭や遺骨の引き取りは兄家族が執り行ってくれた。	入院日より生活保護CWのかかわりあり、柔軟な対応してくれた。
7	16 千葉	61	男	無職	無保険	無保険→生保	2009/2/7	6月30日	不明	千葉県千葉市生まれ。結婚歴なし。20代で家を飛び出し、親や兄弟とも連絡を取っていない。50代後半で失業し、実家を頼って帰ってくるが両親も亡くなっており、残されていた家にて生活を始める。千葉での生活後、白内障が進み全盲状態となるが保険証が無く、医療機関にはかかれなかった。平成21年2月7日に民生委員に連れられて当院を受診。両眼の白内障、舌進行癌と診断される。目で確認できる位に癌が進行していたが、視力障害により、確認が出来なかった。生活保護申請、介護保険のサービス調整、往診をおこなうが同年の6月30日に亡くなる。<主病名>舌進行癌 両側白内障 生活保護が受理され、白内障の手術を行い、数ヶ月ではあるが自宅内で本人らしく生活することができた。舌の痛みから食事が摂れなくなってきたが、訪問看護、訪問介護の協力により、亡くなる寸前まで経口で食事が摂れた。			

全日本民医連「国民健康保険など死亡事例」調査 国保事例一覧（09年1-12月）0.3.117 リリ-ス<修正版>

事例番号	県連	年齢	性別	職業	保険	保険経過	初診日	死亡日	疾患	事例内容	事業所とのかかわり	結果(帰結)	自治体対応など
8 17	千葉	54	男	非正規	無保険	不明	2009/11/17	11月20日	肺癌	岩手県一関市生まれ。結婚歴不明。親族とは15年以上連絡をとっておらず、千葉市の建設会社の飯場で生活し日雇いの仕事をしていた。仕事が少なく生活は厳しいかったと同僚より話がある。	11月17日胸痛出現しまくはり診療所受診。鎮痛剤を処方され帰宅。19日夜より呼吸苦発症し、20日早朝、当院に救急搬送される。検査し治療開始するが、午前9時状態が悪化。救急処置等行い対応するが改善せず、午後4時10分死亡確認する。<主病名> 肺炎 <併存症> 肺癌 <合併症> 右室梗塞 ARDS(急性肺不全)	亡くなる数時間前に親族と連絡が取れ、病院に駆けつけるが間に合わず。葬儀は実家で行われることになる。医療費は窮迫保護を依頼し受理。	
9 28	東京	65	男	自営業	無保険	国保→無保険→生保	不明	9月	糖尿病、下肢静脈瘤、大腸ヘルニア	不況で仕事の借金ふくらみ、無保険。生保取得したが、入院予定日を前にヘルニア破裂で孤独死した事例	「相談会のチラシを握りしめてきた」Aさん(妻と離婚し独居)。当診療所と友の会の「医療・介護なんでも相談会」に相談に訪れたのは2009年7月。Aさんは家のリフォームなどを扱う自営業。2008年2月から不景気のため仕事がうまくいかず、借金が膨らむ。持病も悪化し、切羽詰り相談に。「これを見なよ」。突然シャツを巻き上げズボンを下ろし、おなかを見せたAさん。そこには大きく飛び出したヘルニアが。下肢には静脈瘤があり足は膨らみ、歩くことが辛い。かかっていた病院からは入院・手術が必要と言われていたが、国保保険料が払えず「無保険」。どこに相談すればいいかわからなかった様子。相談員が対応し、自己破産手続きで借金整理。生活保護を申請、受理された。その後、下肢静脈瘤の手術をし、大腸のヘルニアは別の病院で予約、入院の日も決まり、Aさんに明るい笑顔が戻った。まじめな性格で仕事仲間から頼まれ、無理してアルバイトをした様子。入院を前にAさんがヘルニアの破裂のためアパート自室で亡くなっているのを大家さんが発見されました。新聞が溜まっており数日経っていた。部屋の異臭は今も取れないという(相談対応した方の話)。相談員の当診療所事務長は「もっと早く相談会を知らせていれば」と悔しい思いに。相談会は毎回1300枚を診療所近隣に配布。「地域に相談会の宣伝するためチラシをもっと増やしたい」と。Aさんは相談後「感謝している。元気になったら友の会のお手伝いをしたい」と話していたという。当診療所と友の会は2007年9月からほぼ毎月第4水曜日夜に「医療・介護なんでも相談会」(無料)を開いています。		

全日本民医連「国民健康保険など死亡事例」調査 国保事例一覧（09年1-12月）0.3.117 リリース<修正版>

事例番号	県連	年齢	性別	職業	保険	保険経過	初診日	死亡日	疾患	事例内容	事業所とのかかわり	結果(帰結)	自治体対応など
10	3 神奈川	40	男	非正規	無保険	無保険→国保加入	2009/3/4	3月8日	肺結核	来院時国保の期限が切れており無保険。会社の寮に住み込み。社会保険には未加入。非正規雇用。会社の寮の管轄の福祉事務所に通報&緊急患者連絡。家族にも連絡を取らず我慢していたため、職員から他県在住の兄に連絡を取り、生命の危険があることを伝え、結果的に実家のある他県T市国保の資格を取得した。後日負担未収金を支払い清算してくれた。	受診時SPO2は80%、酸素3L(マスク)で90%、喀痰塗抹でガフキー9号、胸部写真は両側広範な浸潤影・粒状影を認めた。全身状態悪く呼吸不全状態で他病院感染病棟に入院。4日後に死亡された。	結核の患者の場合結核病棟に入院できるのは、PCRの結果が出てから(2日間ぐらいいかかる)受け入れをようになっており、PCRの結果が出るまでは、自宅待機が一般病院の入院になる。この事例も県内・東京都7件の病院に相談したが受け入れてもらえず、感染症として受けていただいた。結核の病院は「PCRの結果が出なければ入院させてはいけなし」と厚労省からの指示であるため結果が出たら相談してください」とすべての病院が断るのである。	
11	18 神奈川	57	男	非正規	資格書	短期証→資格書→生保	2008/1/28	12月17日	胃癌・肝硬変	09. 2. 5 腹痛・嘔吐の繰り返しを主訴にて受診(この時、'08. 12. 27付のA町医療班医師による<急性胃腸炎(嘔吐)>診断の紹介状を持参)。本人が一時帰宅を希望した為、翌日2. 6 入院。入院時国保証期限切れていることから医事課担当より連絡あり、本人同意の上で生活保護申請。診断としてはスキルス胃癌、2. 19 胃全摘術施行、リンパ節広範囲に転移を確認。3. 12 より抗癌剤使用し、本人希望もあり、3. 21 退院。退院直後は元の建築会社の寮へ一時戻り、その後生活保護2種施設へ移るが、食事の関係で再び元の寮へ。その後、A町の簡易宿泊所にて生活。	08. 1「手足のしびれ」を訴えての当院初診時、国保保険証は6ヶ月と思われる短期証であったが、特に紹介なし。A病院神経内科に紹介、<発作性運動誘発性舞踏アテトーゼ>疑い(A病院にてフォローとの診療報告届くが、受診継続していたかは不明)。その後は上記 '09年2月の受診まで当院来院せず。	退院後は外来にてフォロー。生活保護受給にて定期通院は継続。また救急も含め「具合が悪い」と予定外で来院されることも複数回。同年8. 18~9. 8、9. 28~10. 5 胃癌による腸閉塞(癌性腹膜炎)にて再入院。更に11. 5 より癌性腹膜炎にて入院。対症療法での治療を経て、12. 17 死亡退院となる。	初回の入院前日、本人が役所国保担当を訪ねた際には「7~8万円」の支払を要求(と本人より)。入院日通報の生活保護については、比較的スムーズに受理対応。その後も担当ケースワーカーが継続的に関わってくれる。

全日本民医連「国民健康保険など死亡事例」調査 国保事例一覧（09年1-12月）0.3.117 リリース<修正版>

事例番号	県連	年齢	性別	職業	保険	保険経過	初診日	死亡日	疾患	事例内容	事業所とのかかわり	結果(帰結)	自治体対応など
12	20 神奈川	60	男	ホームレス	無保険		2009/6/29	9月10日	肺癌	長年A川沿いにてホームレス生活をしてきた。NP Oなどの支援や人との関わりをいっさい拒否していた。定期的に見回りパトロールしていたNPOの方が具合悪いところを発見し、当院へ受診となった。	受診後即日入院となる。肺癌の診断つき、治療検討するも末期状況。入院と同時に生保申請し受理。	長年家族とも音信不通だったが、生保申請後連絡先がわかり、兄弟が数十年ぶりに対面となった。その1週間後に息を引き取った。	
13	6 石川	60	男	無職	無保険	ずっと無保険?	2009/1/21	3月28日	膵臓癌	ホームレス生活をしているときに器物破損にて逮捕され拘留された。拘留中、膵臓癌指摘され未治療にて釈放となり当院受診。膵臓癌にて入院となり、生保申請、入退院繰り返し3/28病院にて死亡。	1/21初診、生保申請援助を行う、その後外来にてフォロー。	病院にて死亡、親族に連絡とるも遠方ためこられず。生保にて火葬、遺骨は無縁仏に。	
14	7 石川	67	男	登山家	無保険	不明	2009/2/22	3月4日	肝不全、出血性胃潰瘍	長年、登山のボランティアや救助活動をして生活していた。年齢的に仕事ができなくなり山をおり、友人宅に居候していた。2/22吐血にて救急搬送。	2/22初診、病状悪く治療するも3/4死亡。	別れた妻が最後は看取りをした。実家の墓が他県にあり、遺骨はそこに葬られた。	
15	8 石川	66	男	年金生活者	短期証	国保料滞納→資格書→受診のため短期証	2008/12/15	4月1日	C型肝炎	年金生活をしてきたが、月65000円しかなくやっていけないので空き缶拾いをして生活していた。保険料払えず資格書になっていたが、体調悪くなり受診するため、市役所で納付相談し短期証をもらって受診。肝臓癌と診断。入退院繰り返ししていたが、自宅にて死亡発見。	治療のため入退院繰り返していた。0812/15が初診、それまでは受診歴なし。友人の紹介で、支払いできないので当院受診した。受診がとだえることもあり、看護師が訪問もしていた。	4/1警察からの連絡で自宅で死亡していることが発覚。	

全日本民医連「国民健康保険など死亡事例」調査 国保事例一覧（09年1-12月）0.3.117 リリ-ス<修正版>

事例番号	県連	年齢	性別	職業	保険	保険経過	初診日	死亡日	疾患	事例内容	事業所とのかかわり	結果(帰結)	自治体対応など
16	9 石川	68	女	無職	無保険	不明	2008/12/20	3月12日	子宮頸ガン、貧血、腎不全	2008年12月、夫と友人二人と他県から当市へ来るもお金なくホームレスに。ホームレス状況のときにデパートで倒れ、当院救急搬送。子宮頸ガンと診断。A大学病院に転院、その後療養目的で当院に再入院。	夫の生保申請援助、アパート探し。本人の転院援助と終末期ケアを行った。	夫に看取られ死亡。遺骨は夫が引き取り、親族捜しをしている。これまでの生活歴や、過去のことについて明らかにせず不明な点が多い。	
17	5 山梨	51	女	非正規	短期証(11/16期限)	無保険→短期証	2009/10/9	10月21日	肺癌	10月初旬から咳・血痰・浮腫等あり受診、諸検査施行し1週後受診予定であったが、10/14朝から頭痛、腹痛、腰痛、咳をすると胸部痛あり救急車にて来院。肺がんから胸膜、心外膜浸潤あり、疼痛コントロール目的で入院。10/21死亡。入院後の15日に医事課から無保険の方とMSWIに紹介された。4月までは健保本人であったが退職。6月から別の事業所にパートで勤務。勤務先に健保本人の加入を打診したが、短時間労働勤務契約なので対象ではないとの対応。夫の国保に加入する。しかし保険料滞納あり、1ヶ月の短期保険証となった。進行が早く、入院8日目に死亡。自覚症状が出るまで発見できなかったかもしれないが、保険証がなかったこと、保険料の滞納など経済的状況が、受診を躊躇させたのではないとも考えられる。市に保険証の交付を依頼。夫が相談したが、高額療養限度額認定証は保険料滞納を理由に交付してもらえなかった。			
18	34 長野	39	男	非正規	無保険	無保険→国保→生保	2009/1/23	8月31日	肺癌	中学3年まで養護施設へ入所。15歳で施設を退所し、飲食店の住み込みなど数年。20歳過ぎてリゾートホテルなどのウエイターの仕事で全国を点々とする。両親とは幼少のころに生き別れ住民票を定める事もできず16歳から39歳まで国保の加入期間は「2ヶ月ほど」と。	近医からの紹介で当院受診し、即日入院。肺がんと診断。手術できず当院初診の2ヶ月以上前から、咳がでて肺が痛い自覚症状あり。受診時は、血痰が出る、歩けない状況になっていた。(近医受診後、国保に加入し、当院受診)	抗がん剤治療や、食道ステントなどの治療が行なわれたが初診から7ヶ月余で死亡。本人が語っていた事「保険証がなかったら病院へは来れない。自分みたいなのは自分の周りにいっぱいいた」	2009年1/30～生活保護開始
19	21 愛知	47	男	無職	無保険	社保→無保険→生保	2009/3/24	8月3日	右尿管癌	他県NTTで正社員として勤務していたが、4年前離婚し、トヨタの期間工になり単身で寮暮らししていた。2008年12月解雇された。名古屋で求職すべくアパートを借り家財道具等購入したため、所持金に余裕が無く国保未加入。2009年1月から血尿あったが無保険のため通院せず。	3/24 保護係へ相談に行き、医療券にて当院受診。 3/26 当院入院。 4/1 尿管がん判明したが、既に骨メタ・脳メタあり。 8/3 当院ホスピス病棟で死亡。	2007年に他院で右無機質腎のため検査入院したが、その時はRUSではなかった。その後、1~2回通院したが解雇後は無保険のため受診していない。解雇されていないければ早期発見・早期治療ができたと思われる。	保護係の対応は迅速で、相談を受けた時点でMSW宛電話があり受診となった。

全日本民医連「国民健康保険など死亡事例」調査 国保事例一覧 (09年1-12月) 0.3.117 リリース(修正版)

事例番号	県連	年齢	性別	職業	保険	保険経過	初診日	死亡日	疾患	事例内容	事業所とのかかわり	結果(帰結)	自治体対応など	
20	47	愛知	53	男	無職	無保険	2009/8/14	10月25日	右上葉肺癌	<p>賃貸マンションで妻・子2人(高2、中2)と暮らし、正社員で社保加入していた。6月ごろ離婚し妻が出て行った。1年前に妻が水漏れ事故を起こし、大家から200万円の請求と明け渡しを求められていた。心労も重なり、体調を崩したが受診せず、会社も休みがちになり解雇された。6月からはガスも止められ、患者は部屋に閉じこもり、ろくに食事もしていなかった。子どもたちは母から小遣いをもらい、外食していた。</p>	<p>マンション階段に座り込んでいるところを近所の人が発見し、救急車要請。入院後精査の結果、右上葉肺がんであり、すでに脳メタあり。入院後ホスピス病棟へ転棟し10/25死亡。</p>	<p>入院時、長男から事情を聞き、要保護性があると判断し、ただちに保護係へ相談した。生命保険に加入していることを理由に一旦は拒否されたが、病状から予後は長くないこと、子どもたちの生活を保護する観点から、死亡後保険金が支給されたら返還することを条件に、生活保護が開始された。病状的には手遅れであったが、数ヶ月間を穏やかに過ごせた点はせめてもの救いであったと思う。</p>	<p>保護係担当者の対応は、親身であり、これ以上の対応はなかった。</p>	
21	48	愛知	59	男	無職	無保険	2008/8/16	9月30日	下行結腸癌	<p>大卒後、中学校等で体育の非常勤講師をし、52才から接骨院経営をしていた。2008年廃業し、その後無職、離婚後1人暮らし。2008年8月初めから下痢・腹痛あり近医受診。2008年8月16日救急車で当院受診し、下行結腸穿孔で緊急ope。2008年9月20日退院したが入院費60万円未払い。2008年10月2日、30日外来受診したがその後受診されず。</p>	<p>2009年3月15日 救急外来受診。私費。2009年6月8日 他市の病院から救急搬送された。大腸がん再発しており多発肝転移あり。無保険のためMSWIに連絡あり、ただちに保護係へ相談。6/11-6/22、7/7-7/9、7/22-7/24、8/5-8/7、入院し治療続けた。9/9再入院したが、9/30死亡。</p>	<p>下行結腸癌ope後、人生に投げやりになり、接骨院も廃業し、無収入となった。友人からも見放され、治療も中断していた。MSWが患者と話し生活保護申請を勧めた。当院未収金を少しでも回収すべく、診療情報サービス課職員に国保係へ同行してもらい、遡及して受療委任払い制度が適用された。60万円の未収が、10万円まで圧縮できた。</p>	<p>借地上の持ち家を所有していたが、当院職員が生保申請に同行したことや、病状を考慮し、即日保護開始となった。</p>	<p>一部負担金滞納：98,390円</p>

全日本民医連「国民健康保険など死亡事例」調査 国保事例一覧（09年1-12月）0.3.117 以リ入<修正版>

事例番号	県連	年齢	性別	職業	保険	保険経過	初診日	死亡日	疾患	事例内容	事業所とのかかわり	結果(帰結)	自治体対応など
22	49 愛知	40	男	自営業	無保険	国保→社保(数ヶ月のみ)→無保険	2009/11/20	11月26日	進行胃癌・肝転移	2年くらい塗装業に従事。会社借り上げアパートで独居。給料は経費引かれて15万円/月程度。4年ほど前に借金苦で家出しており、当時は国保加入していたが、保険料未納・住民票の異動をしていなかったため、無保険の状態となってしまった。	当院受診1ヶ月前より発熱あり、近医通院していた。私費のため検査できず対症療法のみであった。症状悪化のため紹介入院。入院日よりMSW対応し、本人の了解の下、実家の父へ連絡した。父にて国保再取得の手続きをしてもらうよう支援した。	本人が行方不明のため、父が国民健康保険の資格保留手続きをしまっている状態であり、保留解除の手続きをしても手続き日からしか保険適用とされないこと、本人の現住所への住民票異動が必要なのが問題となった。	病状悪く仕事復帰は不可能なので帰郷は実家としたい旨と、連休前の土曜日入院で即日手続きが困難であった事情を説明・交渉し、実家の住所のまま入院日に遡って保険適用してもらえることとなった。しかし、病状は予想以上に重く、手続き完了前に死亡。全入院期間、国民健康保険適用OKであり、一部負担金は父にて支払い済み
23	50 愛知	64	男	非正規雇用	無保険	無保険→生保	2009/10/13	10月20日	転移性肝癌・肺癌	独居、日雇いの仕事(肉体労働)をしていた。多い時は、7~8万円/月の収入があった。最近では体調不良と仕事減により、仕事を休みがちになり、収入は減っていた。食事は、体調不良により1日1食の状態。家賃2万円のアパートに住み貯金は無し。結婚歴無し。入院時の所持金は手元に12,000円。自宅に6~7,000円置いてあるという状況だった。	「4~5日前からお腹がはって気になる」と、30数年来の知り合いの方と共に救急外来受診し、同日入院となった。入院日に生活保護を申請した。これまで病院にはどこにもかかっておらず	2009.10.19腸管閉塞によりイレウス管挿入したが十分ではなく、開腹手術。転移性肝ガンの破裂による大量出血があり止血行いope終了。2009.10.20死亡。	生活保護の受給対象となったため、医療費は生活保護にて負担。
24	31 京都	61	男	無職	無保険	無保険→国保	2009/6/11	7月23日	肺癌	国保加入歴なく無保険で来院。国保加入手続きして入院。2009年1月派遣切りにあっていた。お金なく受診をひかえていた。	入院後、肺癌と診断。治療すすめるも7月下旬に急変し死亡退院。	肺癌にて死亡、医療費は兄が支払った。	
25	32 京都	63	男	無職	無保険	健保→無保険→国保→生保	2009/6/2	11月5日	肺癌	独居、無職、無収入で呼吸苦のため当院受診。肺癌で入院となる。受診日に国保証発行手続きとる。自宅以外に持ち家あったため生保は当初難しかったが、弁護士の援助受け、生保受給となる。	お金もなく無保険であったため受診が遅れ、かなり進行した肺癌であった。当初より生保受給をめざしたが、上記の問題もあり難航した。また友の会に入会していただき、友の会スタッフによるペット(カナリア)の世話も行い、本人のQOL向上に努めた。	肺癌進行し、11/5死亡退院となる。	

全日本民医連「国民健康保険など死亡事例」調査 国保事例一覧（09年1-12月）0.3.117 リリ-ス<修正版>

事例番号	県連	年齢	性別	職業	保険	保険経過	初診日	死亡日	疾患	事例内容	事業所とのかかわり	結果(帰結)	自治体対応など
26	43 大阪	51	男	非正規	資格書		2009/3/13	3月20日	転移性肝癌	飲食店店員。以前事業に失敗したことがきっかけで借金に追われる生活を続けていた。少なくとも平成17年以降、約153万円の国保料滞納があり資格書となっていた。3月初旬より体調不良、無理して働いていたが仕事にもいけなくなり、3/13当院に受診された。	2009年3月13日当院外来初診。17日より入院、3日後病状急変し死去退院。	本人は3/20に死亡。入院当初国保課と電話交渉で所持金から3万円、次の給料から3万円支払うと約束して一般証を送ってもらったが、本人が亡くなったため、再び保険証留め置きになった。10日後、遺族と市役所本庁へ同行、保険料2回分6万円を払い葬祭料は遺族が受けとることに。初診時に遡り、一般証扱いとなった。	大阪府下で最大の資格書交付数。滞納理由を把握せず資格書を出している。要医療の人にも交付しており、法律違反。
27	42 鳥取	56	男	自営業	無保険	不明	2009/10/5	10月9日	糖尿病	多重債務者の相談活動を行っている女性から、診療所に紹介があった。初診時保険証はなかった。症状の訴えは、「1週間ほど前から疲れが出てしんどくなった。」咽頭痛、倦怠感、食欲低下、体重減少(1年間で18Kg)、呼吸困難。自歩行で来所。「保険証がないので糖尿病は放置している」とのことと血糖値を測定すると以上高値でエラー表示。胸部X線は異常なし。血液検査は炎症反応が異常高値	結果(帰結)入院を促すと、「病院受診はちょっと・・・」と躊躇。翌日生活保護申請と紹介入院を予定して。帰宅。翌日、依頼女性から「朝起きてこない」「従業員が起こしにくいと動かない。」その時は呼吸はあったが、救急車が来たときは「心肺停止」状態。大学病院に入院。3日後に意識が戻らないまま死亡。電機部品の組み立て工場を自営。メーカーの孫請けのような仕事。最近では内職程度の仕事しかなかった。遠方に兄がいたようで入院中は付き添っていた。	診療所受診を生保で対応するように要請したが、入院の時点から申請が出たので対応できない。「資格証はとどいていたはずだが、納入相談もなかったのも、どうしようもなかった。」仮にいくらでも保険料が払われてもいままら本人が亡くなられたので、7割を戻すところもないので対応のしようがない。」と対応。診療所の未収金15960円は診療の負担に。	
28	10 高知	57	男	非正規	無保険	政管→無保険→生保	2009/3/22	4月30日	肝癌	保険証がなくずっと病院にかかることをひかえていた。男性が腹痛を訴え市議に相談し当院へ受診された。しかしすでに末期の癌であることがわかり、緩和治療しかできない状態であった(男性は1人暮らし、母と姉が市外在住)。	市議の紹介で来院された後、生保受けられることになり、当院で入院治療することになった。	しばらく治療続けられたが、症状が悪化し4/30に亡くなられた。	

全日本民医連「国民健康保険など死亡事例」調査 国保事例一覧（09年1-12月）0.3.117 リリース<修正版>

事例番号	県連	年齢	性別	職業	保険	保険経過	初診日	死亡日	疾患	事例内容	事業所とのかかわり	結果(帰結)	自治体対応など
29	22	福岡	50	女	非正規	無保険	2009/12/14	2009/12/17	くも膜下出血	内縁の夫と二人暮らし。健康センターでパート従業員として勤務。数年前社会保険脱退してからは国保手続きしておらず、医療機関受診なし。入院後家族(姉・娘)が国保加入手続きを行った。重症のくも膜下出血で入院3日後に死亡。	09年12月14日、職場で倒れ救急搬入。居住地に住民登録がないなど当初生活状況が不明であり、いったん保護課へ相談を行ったがすぐに家族が来院。家族より国保加入手続きの相談あり、援助を行った。12/17死亡。	死亡退院。3日間の入院のあいだに家族が住民票や国保の手続きを行い、支払いも家族が行った。	
30	23	福岡	52	男	非正規	無保険	2009/11/13	2009/12/28	胃癌	35歳で大手企業に勤めていたが、借金問題などで退職、離婚、その後職を転々とし、昨年より労働下宿に住み込み、寮費1日1200円、日給8000円で生活していたが、仕事がなかったり、体調が悪かったり、借金が増えるばかりであった。受診したくても保険はないし、お金もなかった。娘が二人いるが、音信不通で、どこにいるかもわからない。	生活保護課の面接担当者より、「申請にきた相談者があまりに具合が悪そう申請はさせたが、保険がなくてお金もないが、今日受診させてほしい」と相談がある。当日受診、そのまま入院となる。	入院して、1ヶ月後に生保決定。娘の住所を保護課より教えてもらい、104で長女の電話番号がわかる。主治医が連絡し、娘二人が来院してくれる。入院して2ヶ月後で死亡。	

全日本民医連「国民健康保険など死亡事例」調査 国保事例一覧（09年1-12月）0.3.117 以リ-ス<修正版>

事例番号	県連	年齢	性別	職業	保険	保険経過	初診日	死亡日	疾患	事例内容	事業所とのかかわり	結果(帰結)	自治体対応など
31	24 福岡	59	女	無職	無保険	無保険のまま死亡	死亡日	6月	糖尿病	(A氏:パート介護士25歳の家族の事例。この方の生活相談を受けた際、母親が無保険・未受診のまま死亡された経緯を聞く)・元来糖尿病があったが、清掃業などで家計を支えていた。・2000年ころから視力低下のため就労困難になった。・2009年4月ころまでには、ADL自立していた。糖尿病は無保険のため、放置。・2009年5月ころ発熱。徐々にADL低下。・2009年6月には、寝たきり状態、オムツ使用。右足(指の付け根)が壊死していた。・亡くなる直前は、介護をしていた妹が母親の脈がないことに気づき救急車をよぶが手遅れであった。救急搬送先の他病院で死亡が確認。	母親が亡くなったあとは、父・兄・A氏、妹の4人暮らしであった。家族の就労状況は、A氏と妹(月3万円のバイト)であり、保険証はA氏以外は保持していなかった。妹の体調不良があり、A氏の保険に家族全員加入手続きをとった。妹が就労困難になり、現在生保手続き中である。	母親の死亡という結果後の相談であった。A氏は、幼少のころより両親や親族などに頼ることができない環境であった。母親の介護の際にも、誰にも相談できていない。家族状況としては、母親→A氏(幼少のころよりPtがDMJになったことを不憫に思っていた。それでも勤勉に働いていたので感謝していた)。A氏→母親(父親が「親らしい」ことをしていないので、母親を助けたかった。子として甘えることができなかった)。父親:Ptが20歳までは一緒に家に住んでいた。運送業をしていたが、失業・借金とともに、蒸発。母親が亡くなって同居。A氏→兄(家計が苦しいときでも仕事を探そうとしない。頼りにできない)。→派遣切りの経験あり。	
32	25 福岡	41	男	無職	短期証	無保険→短期証→生保	2009/8/28	12月11日	冠動脈疾患による心肺停止状態	中学卒業後アルバイトしていたが、無職であるときも長く、今から3年前に父親が寝たきりになり自宅で介護していた。同居家族は両親・姉・兄・本人の5人。その兄も本人の入院と同時期に、精神科に入院となった。生計は、両親の年金と姉がタクシー会社での稼働収入で立てていた。本人は無収入。	09年8月11日、風呂場で倒れ救急車で当院搬入され入院、冠動脈疾患による心配停止状態で、翌日他院転院。同月22日、当院に再入院になっている。09年12月11日、入院中、死亡。	1年前より胸部痛の訴えがあったが、経済的事情もあり受診していなかった。今回家族から二人入院となり、(兄は精神科病院)本人の当院入院翌日に、姉が生保申請にいき、世帯は生保受給となる。姉はタクシー会社勤務で社保あるが、本人は当院に救急車にて搬入されたときは、国保が切れていた。後から姉が国保料を支払って短期保険証をつくり、入院時の無保険状態を解決した。	

全日本民医連「国民健康保険など死亡事例」調査 国保事例一覧（09年1-12月）0.3.117 リリース<修正版>

事例番号	県連	年齢	性別	職業	保険	保険経過	初診日	死亡日	疾患	事例内容	事業所とのかかわり	結果(帰結)	自治体対応など	
33	4 宮崎	50	女	無職	短期証	お金の工面ができたときだけ短期保険証で受診、切れているときは受診しなかった。	1996年	6月14日	大動脈解離、高血圧	夫と息子の3人暮らし。夫の収入で生活しており、1ヶ月の収入は生活保護の基準額を上回っていたが、消費者金融への借金あり。借金返済で給料のほとんどを使い果たし、生活に困っているという状況。ちなみに、息子は私立の高校に通っており、学費の工面にも苦労していた。	当院初診は2004年。急性大動脈解離の診断で他病院へ紹介し、人工血管置換術を施行。術後、当院に通院していた。借金の原因になったのは、この手術費用を捻出するため。高額療養費制度を説明してもらえなかったとのこと。しかし、当院MSWが初回面談した時には既に時効の2年を過ぎていた。借金の返済さえなければ生活が安定することから債務整理を提案したが、「夫が借りたものは返さないといけないインチキは嫌いだ」と言い、説得できない」とのことで、夫と面談できないまま経過していった。	お金の工面が出来たときだけ短期保険証を発行してもらって受診する、というような状況になり、頻度としては3ヶ月に1回程度の受診だった。当院に未払いは無いまま経過していた。2009年6月14日、心肺停止で救急搬送され、蘇生できず死亡。来院時、保険証の期限が切れていた。無保険での受診や未払いが無かったことから、保険証とお金が無いときは病院には行けないと思っていたのではないかと推測される。	死亡後、夫が来院。最後の治療費7万6349円を分割払いすることになり、完済した。夫の話によると、保険料滞納額は僅か3万円。「保険料の滞納分も払って、治療費の7割分を国保から返してもらおうになっている」と話していた。	
34	44 鹿児島	53	男	無職	無保険	無保険→短期証	2009/12/6	12月6日	不明	1ヶ月前から体調悪かった。09年12月6日、呼吸難あり隣人の弟が救急車を要請した。	入院時に家族の聞き取りで、無保険であることがわかった(10年ほど無保険状態)。そこで短期証取得と高額貸付制度の援助をおこなった。	敗血症ショックで重症管理となるも入院15日目、心停止。循環動作薬に反応なく永眠される。		
35	35 沖縄	71	男	無職	無保険	無保険→国保→生保	2008/10/4	5月27日	前立腺癌、前立腺肥大症	独居、25年以上前に妻子をおいて県外で働いていたが、病気のため入院、労働不能になった。上司が元妻のいるアパートに連れてきた。困った元妻は近所の元県議に相談、SWへ紹介、受診後入院となった。	元県議からの紹介で介入。兄弟とも絶縁状態。入院中、退院後の金銭管理を元妻が拒否したためMSWが管理。施設入所後も死去までMSWが金銭管理をしていた。死去後、元妻からの連絡一切なし。	MSW介入時から病状的にターミナルであり、施設入所しながら対医院治療行ったが死去。	協力的であった。	一部負担金未収19,348円

全日本民医連「国民健康保険など死亡事例」調査 国保事例一覧（09年1-12月）0.3.117 リリース<修正版>

事例番号	県連	年齢	性別	職業	保険	保険経過	初診日	死亡日	疾患	事例内容	事業所とのかかわり	結果(帰結)	自治体対応など	
36	37	沖縄	62	男	無職	短期証	無保険→短期証→生保	2009/3/4	4月18日	直腸癌、大腸癌、転移性肝腫瘍	下痢、血便、歩行困難出現したため本人が救急連絡し救急車搬入、入院。外来からMSW紹介あり、生保申請する。県外にいる家族の元へ帰郷希望するも家族が拒否。	救急搬入後のMSW介入。県外から転入して以来、独居で仕事も転々としていた。アルバイトとサラ金で生活していたものの入院を契機に生保受給した。	県外にいる家族が面会に来沖したが、その後来沖できず(経済的事情)。本人の要望を受け入れることは困難(経済的事情)として死亡後来沖。遺体はひきこられた。	一部負担金未収51830円
37	38	沖縄	51	男	無職	無保険	ホームレスだったが生保申請中	2009/4/8	4月13日	くも膜下出血、脳梗塞	友人宅で発症し救急車搬入。友人も連絡とれず身元不明で生保申請。	身元不明のため、救急隊の記録と市役所からの情報で住所が判明。住所地へMSWが訪問、すでに生保申請中のできごとであったことが判明。	入院中に生保受給決定したものの、病状悪化で死去。	
38	39	沖縄	73	女	年金生活者	短期証	短期証→生保	2001/3/5	4月11日	糖尿病、慢性腎不全	(長男世帯同居)法人内診療所からの紹介入院。娘(パート)と二人暮らし。本人は老齢年金の約月3万円の収入のみ。同居中の娘とコミュニケーションもなく、本人の年金のみで本人の生活費と医療費をまかっているため、医療費捻出できず治療中断多し。糖尿病コントロール悪化で入院。	法人内診療所からの紹介で本人と面談。本人は同居の娘の協力を希望したが、娘は無視。面談しても反応なし。別世帯の長男はアルバイトと妻の収入での生計のため母親の援助はできない。	窓口一部負担金の未収金が増加。本人が長男と同居するも入退院繰り返したため未収金は増加の一途。長男と何度も話し合い本人施設入所、世帯分離で生保申請。08年9月に生保受給できたものの、半年後に死去	一部負担金未収113,3048円